



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月25日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名
 コード番号 8190 URL <https://www.super-yamanaka.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久
 問合せ先責任者 (役職名)管理ユニット長 (氏名)野間 祐也 (TEL)052-937-9310
 四半期報告書提出予定日 2021年1月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年3月21日~2020年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	74,942	4.0	1,534	—	1,641	—	715	—
2020年3月期第3四半期	72,087	△0.9	70	△87.5	147	△78.5	16	△96.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 964百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	37.37	—
2020年3月期第3四半期	0.87	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	42,116	15,854	37.6
2020年3月期	36,462	15,081	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,854百万円 2020年3月期 15,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日~2021年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	1.9	1,700	144.9	1,800	133.2	800	126.3	41.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	20,425,218株	2020年3月期	20,425,218株
2021年3月期3Q	1,270,577株	2020年3月期	1,270,491株
2021年3月期3Q	19,154,660株	2020年3月期3Q	19,154,803株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期3Q 108,300株、2020年3月期 108,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期3Q 108,300株、2020年3月期3Q 108,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界的に経済活動が停滞し、企業収益や雇用環境は大幅に悪化しました。2020年5月の政府による緊急事態宣言の解除後は、徐々に経済活動は回復の兆しが見られたものの、足元では再び感染症が拡大する中、非常に厳しい経営環境が続いております。

食品小売業界におきましては、コロナ禍における不要不急の外出自粛やテレワークなどによる内食需要・巣ごもり消費の高まりが売上を押し上げる要因となった一方で、個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費マインドの低下、節約志向の強まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、5月に「衛生管理基本方針」を策定し、「お客様と従業員の命を守る」ことを最優先に、衛生管理の徹底や接触感染・飛沫感染防止策、営業時間や販促方法の見直しなど様々な感染症拡大防止対策を講じてまいりました。

更に当社グループでは、2022年の創業100周年を見据え、6月に新たに企業理念を制定しました。また、次の成長戦略に向けた基盤づくりのため9月に大幅な組織改編を実施し、店長に権限と責任を委譲することによって、これまでの本部主導から店長主体の店舗運営に移行するとともに、本部は店舗での取り組みを徹底的にサポートする組織体制を構築するなど、当社グループの使命である「顧客価値創造」の実現に向けて当社グループ一丸となって取り組んでおります。

商品政策では、家庭で楽しむ食事や家飲みなど新しい生活様式に対応し、“プチ贅沢”や“おいしさ”にこだわった商品の品揃えを強化するとともに、独自性の高いバイヤーいち押し商品やフランテ独自のこだわり商品の拡充に加え、新たに「Yamanakaスター」「Frante二つ星」「Frante三つ星」の三つのプライベートブランド商品を開発し、“ヤマナカ・フランテならでは商品”の拡販に取り組みました。

販売政策では、毎週日曜日にお買い物されたグラッチェカード会員様へ翌週の月曜日から土曜日にご利用いただける「5%割引得々クーポン券」の導入やボーナスポイント商品の拡充、電子マネーチャージキャンペーンなど、カード会員様向けの販促を強化しました。

店舗政策では、地域特性やお客様ニーズに対応した商品構成や売場の見直し・刷新を図るため、10月に柴田店（名古屋市南区）、御油店（愛知県豊川市）の改装を実施しました。また、お客様のレジ待ち時間の短縮による利便性の向上やレジ業務の効率化を目的に二川店（愛知県豊橋市）など6店舗にセルフ精算レジを導入しました。

連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営する5店舗のスポーツクラブでは、緊急事態宣言期間中の臨時休業や休会者の増加など新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、「ASTYオンラインレッスン」の開始や運動不足解消のための様々なプログラムを提供するなど、その後一定の回復は見られたものの、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、事業環境は不透明な状況が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は、コロナ禍での内食需要の高まりやお客様のまとめ買いによる客単価の上昇により既存店売上高が前年同期比104.4%と伸長し、749億42百万円（前年同期比4.0%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、商品ロス削減の取り組みによる粗利益率の改善により、営業利益は15億34百万円（前年同期は70百万円の営業利益）、経常利益は16億41百万円（前年同期は1億47百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億15百万円（前年同期は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ56億53百万円増加し、421億16百万円となりました。これは主に土地が38億86百万円、現金及び預金が17億29百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ48億81百万円増加し、262億62百万円となりました。これは主に、有利子負債が33億64百万円、買掛金が4億57百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ7億72百万円増加し、158億54百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億23百万円、その他有価証券評価差額金が2億24百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,529	5,259
売掛金	1,228	1,255
商品及び製品	2,550	2,851
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	48	80
その他	1,511	1,282
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,868	10,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,289	7,924
土地	9,584	13,470
その他(純額)	1,363	1,478
有形固定資産合計	19,237	22,873
無形固定資産		
借地権	331	273
ソフトウェア	301	228
その他	29	135
無形固定資産合計	661	637
投資その他の資産		
投資有価証券	2,422	2,755
差入保証金	4,849	4,739
繰延税金資産	67	27
その他	361	344
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	7,650	7,816
固定資産合計	27,549	31,328
繰延資産	44	59
資産合計	36,462	42,116

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,274	5,731
短期借入金	277	277
1年内償還予定の社債	1,240	1,360
1年内返済予定の長期借入金	1,374	1,940
未払費用	1,136	1,175
未払法人税等	155	401
賞与引当金	288	92
ポイント引当金	133	145
資産除去債務	10	-
その他	1,923	2,729
流動負債合計	11,813	13,853
固定負債		
社債	3,090	3,885
長期借入金	3,429	5,280
リース債務	287	305
繰延税金負債	-	256
役員株式給付引当金	45	45
退職給付に係る負債	442	264
長期預り保証金	828	834
資産除去債務	1,343	1,321
その他	101	215
固定負債合計	9,567	12,409
負債合計	21,381	26,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,858	6,381
自己株式	△1,962	△1,962
株主資本合計	14,655	15,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	858
退職給付に係る調整累計額	△207	△182
その他の包括利益累計額合計	426	675
純資産合計	15,081	15,854
負債純資産合計	36,462	42,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年12月20日)
売上高	68,279	71,338
売上原価	51,130	52,662
売上総利益	17,149	18,675
営業収入	3,807	3,604
営業総利益	20,956	22,280
販売費及び一般管理費	20,886	20,745
営業利益	70	1,534
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	52	49
持分法による投資利益	2	10
情報提供料収入	37	37
その他	88	103
営業外収益合計	181	200
営業外費用		
支払利息	33	33
その他	71	60
営業外費用合計	104	94
経常利益	147	1,641
特別損失		
固定資産除却損	19	40
減損損失	102	201
臨時休業等による損失	-	50
特別損失合計	121	292
税金等調整前四半期純利益	25	1,348
法人税、住民税及び事業税	56	447
法人税等調整額	△47	186
法人税等合計	9	633
四半期純利益	16	715
親会社株主に帰属する四半期純利益	16	715

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)
四半期純利益	16	715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	224
退職給付に係る調整額	29	25
その他の包括利益合計	△48	249
四半期包括利益	△32	964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32	964
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の収束時期等について、感染の影響が2020年12月頃まで継続すると仮定しておりました。

しかしながら、昨今新型コロナウイルス感染症は再拡大しております。スーパーマーケット事業においては内食需要の継続により食料品を中心とした販売が見込まれる一方、連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営するスポーツクラブ事業においては一定の回復が見られておりますが、事業環境は引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況を踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が2022年3月期に及ぶものと仮定を変更し、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。